

インターバンクの声（2017 年 11 月 27 日）

金曜日のニューヨーク市場は、前日の感謝祭休日と週末に挟まれていたこともあり、やはり 4 日連休にしてしまった人が多かったようだ。こうした状況では相場が大きく動くことは期待できず、ドル円は 111 円台前半から中盤にかけて緩やかにドルの買戻しが進む程度だった。一方、ユーロはドイツの連立政権協議をめぐって連立継続に否定的だった社会民主党がメルケル首相率いるキリスト教民主・社会同盟との連立に応じると報じられたことから、1.18ドル台中盤から 1.19ドル台中盤まで上昇した。ニューヨーク市場での高値 1.1944ドルは、実に 9/22 以来の水準だ。欧州時間に発表されたドイツの IFO 景況指数も予想されたより強く、ユーロが再び上昇モードに入るとの見方もある。しかし、今月上旬には一旦 1.15ドル台に下げていたこともあり、ポジションの傾きを掴んでおかないと 1.20ドル台に戻った途端急落するような可能性も否定できず、注意が必要だろう。今週は明日に予定されている次期 FRB 議長パウエル氏の承認公聴会にまずは注目だ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。